

第1学年 技術・家庭科（家庭分野）

教科のねらい

- ① 自分の着用している衣服に関心を持ち、学習したことを日常生活で活用しようとする。
- ② 基本的な縫い方を身に付け、衣服の補修ができるようになるとともに、その技術をいかして作品を作る。
- ③ 住まいの役割を考え、健康的な住まいについて理解し、自分の住まい方を見直そうとする。

☆学習を進めるにあたって

使用 教材	○教科書 新しい技術・家庭 [家庭分野]（東京書籍） ○教材 「基礎縫い 生活に役立つ小物作り」	持 ち 物	・教科書 ・ファイル ・筆記用具 ・裁縫道具
学 習 の 進 め 方	≪学習をしっかりするには≫ ○何事にも興味をもって取り組もう。 ○実習時は、友だちと協力して助け合いながらすすめよう。 ○技能は、地道に努力しよう。 ≪家庭学習≫ ○宿題は、丁寧に行おう。必ずやって、提出しよう。 ○衣生活への理解を深め、進んで衣服の手入れや補修をして自立に努めよう。 ○住生活に関して興味を持ち、健康で快適に住むために手伝いを進んでしよう。また、防災についても真剣に考え、安全に生活できるよう見直そう。 ○学習したことを家で更に調べ、実践しよう。 ≪定期テスト≫ ○1学期末・2学期末・学年末の3回、「技術」と合わせて50分間のテストを行う。 ○教科書、ノート、配布したプリント、視聴したビデオやDVDなど授業で行ったすべての内容から出題する。また、時事問題もある。「自分の考え」をしっかり書こう。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しよう。		
学 習 上 の 注 意 等	○授業中は、先生や友達の話や意見を大切に聞こう。 ○授業で気づいたことはノートに工夫してまとめておこう。 ○実習中は、他の班員と協力し、時間の使い方を工夫しよう。 ○ノート、プリントなどの提出期限は守ろう。 ○「どうすれば効率がいいか」など常に工夫しながら、あきらめることなく前向きに取り組もう。 ○すぐに人に聞くのではなく、自分でもよく考えよう。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって				
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点	評価の場面・方法			
1	4	わたしたちの衣生活と住生活 オリエンテーション 衣服の役割	期 末	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活、住生活の自立に対する興味や関心をもって、意欲的に授業に取り組もうとしている。 ・安全に気をつけて実習をしようとしている。 ・学習した内容を自分の生活に取り入れようとしている。 	チャイム着席 準備物 発表意欲 行動観察 実習の取り組み 提出物 ワークやノートの内容		
	5	布と繊維 衣服の手入れ 基礎縫い			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣服の整理を工夫してできる。 ・作品を工夫して仕上げることができる。 ・家族構成やライフステージに求められる住まいの条件を考え、住まい方を工夫できる。 ・家庭内の事故を予防し、安全に住まう方法を工夫できる。 	実習の取り組み 発表内容 ワークやノートの内容 作品の評価 定期テスト		
	6	生活を豊かにする物を作ろう			<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの基本的な縫い方ができる。 ・作品をていねいに縫い、美しく仕上げることができる。 ・家の間取りを正確に書くことができる。 ・家庭内の事故の安全対策を図で表すことができる。 	実習の取り組み ワークやノートの内容 作品の評価 定期テスト		
2	9	必要な衣服の選択 よりよい衣生活をめざして	期 末	技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの基本的な縫い方ができる。 ・作品をていねいに縫い、美しく仕上げることができる。 ・家の間取りを正確に書くことができる。 ・家庭内の事故の安全対策を図で表すことができる。 	実習の取り組み ワークやノートの内容 作品の評価 定期テスト		
	10	住まいの役割 家族と住まいのかかわり					<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れの仕方と補修の仕方が理解できる。 ・住まいのはたらきと機能を理解できる。 ・住まいのルールやマナーを工夫することで、家族の関わりを深める快適なものになることを理解する。 	定期テスト 小テスト ワークやノートの内容 授業の発表内容
	11	安全に住むために 防災について考える						
	12							
3	1	健康で快適な室内空間	学 年 末	知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の手入れの仕方と補修の仕方が理解できる。 ・住まいのはたらきと機能を理解できる。 ・住まいのルールやマナーを工夫することで、家族の関わりを深める快適なものになることを理解する。 	定期テスト 小テスト ワークやノートの内容 授業の発表内容		
	2	生活を豊かにするための工夫をしよう						
	3	よりよい住生活をめざして						